

CLUB CREST

品番 P-SMELT 2002

取扱説明書

御買い上げ誠にありがとうございます。
ご使用にあたりこの説明書をお読みになって、安全かつ
正しくお使い頂きますようお願い申し上げます。

目次

主な特徴・・・・・・・・・・	2
安全にお使い頂くために・・・・・・・・	3
安全上のご注意（１）・・・・・・	4
安全上のご注意（２）・・・・・・	5
各部の名称とはたらき・・・・・・	6
操作方法とご使用のヒント・・・・・・・・	7
ゴム管交換方法・・・・・・・・	未掲載
故障かなと思ったら・・・・・・・・	11
アフターサービスについて・・・・・・・・	12

主な特徴

軽量・コンパクト設計

本体全長 22cm 重量 80g

＊穂先、電源供給部、巻糸を除く本体重量

ラクラクワンタッチ投入

低温対応のベアリングを採用によって
ワンタッチで比較的軽量な仕掛けでも湖底
へと落ちていきます。

＊最大 市販の2号以下でお使いください。

高感度トップ標準搭載

低温でも柔軟性を失わない素材を採用、
これによって万が一穂先を巻き込
んでしまっても折れません。

＊取込時の巻き込みを推奨しておりません。

極力巻き込まぬ様にご使用ください。

安全にお使い頂くために

＊安全にご使用のために、ご使用前にこの取扱い説明書と
付属している別紙の説明書をお読みの上、正しくお使い
下さい。

＊お読みになった後はいつでも見られる所に保管してください。

＊この取扱い説明書では、誤った使い方をした場合、ご使用の
ご本人や周囲の人々に対して起こりうる危害や損害を防止す
るため、いろいろな注意事項を表示しています。

また、本商品の取扱いはご使用されるご本人様の責任のもと
に安全を十分に確保した上でお使いください。

⚠警告：この表示を無視して、取り扱った場合人命にかかわる
ような重大な事故に発展する可能性があります。

⚠注意：この表示を無視して、取り扱った場合ご本人や周囲の
人が傷害を負う事故の可能性があります。

🚫禁止：この表示は禁止行為を告げるものです。

📢指示：この表示は行為を強制したり指示する内容を告げる
ものです。

別紙の取扱い説明書も合わせてご確認ください。

**警告・注意・禁止事項等十分にご理解の上
安全なご釣行をお楽しみ下さい。**

安全上のご注意 (1)

※別紙取扱説明書も△警告○禁止行為にあたります。

△警告

- ⊘ 本機は3V専用です。充電式乾電池、カメラ用乾電池などで使用しないで下さい。発熱によって火傷や火災などの原因となります。
- ⊘ 電池ケースは本機専用を用い、本機の電源供給以外の電気機器の電源供給として使用しないで下さい。感電や発熱などによって火傷や火災の原因となります。
- ⊘ 供給用の電池はアルカリ単3乾電池2本を使用し、必ずプラス・マイナスを間違えないように入れ、マンガン乾電池や新旧の乾電池を混ぜるなどして使わないで下さい。発熱や有毒なガスや液体が漏れ出し、火傷・発火などの原因となります。
- ⓘ 本機をご使用にならないときは、電池ケースから電池を外しておいてください。保管時の自然放電や保管ケース内でのショート等が起き、火災等の原因となります。
- ⓘ 本機をご使用になっている時に、巻き上げ作業以外に巻き上げスイッチを押したままにしないで下さい。モーターが停止した状態では過大な電流が流れモーターの損傷やモーターの発熱から火災等の原因となります。

△警告

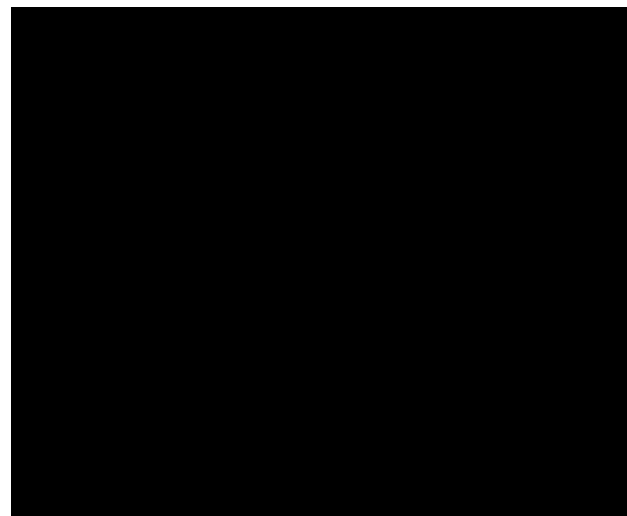
- ⓘ 本機の改造・分解は行わないで下さい。また、ゴム管交換については、ゴム管交換方法(9.10ページ)を参照しながら行い、刃物による怪我等に十分に注意しておこなってください。ご自身で難しそうであればお買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。分解・改造は火災や感電・怪我などの原因となります。
- ⓘ 本機を使用中に、煙が出る・変なにおいがする・などの異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談下さい。そのままご使用になると事故・火災等の原因になります。
- ⓘ 本機はボート・氷上・栈橋などによるワカサギ専用の電動リールです。河川やトローリングなど流水の中では使用しないで下さい。誤った使い方をすると溺れたり思わぬ事故の原因となります。
- ⓘ 本機を未成年者や体のご不自由な方がご使用になる場合、必ず本機の操作に熟知された方の指導のもとに、ご使用下さい。ワカサギの仕掛には多くの針を使用するため身体への傷害や、ご操作による火災等の原因となることがあります。

安全上のご注意 (2)

△注意

- ⊘ 本機を保管する場合、湿度の多いところやほこりの多いところや乾電池を入れたままにしないで下さい。本機に湿気やほこりが付着したまま保管すると発煙や発火の原因となります。
- ⓘ 本機のお手入れをする場合、せっけんや洗剤などを使って洗わないで下さい。ベアリングなどに潤滑剤を使用していますので、洗い流してしまったり分解してしまった場合さびの発生や電気回路への、水分混入から誤作動の発生や感電の原因となります。
- ⊘ 本機をご使用する時には、電源供給用コードを折り曲げたり固定のためにビス・クリップ等ではさまないで下さい。断線やショートにより、事故や感電・火災等の原因となることがあります。
- ⓘ モーター動力によって仕掛を巻上げ中にモーター軸やスプール部に触らないで下さい。高速回転によって身体への傷害が発生する可能性があります。
- ⓘ 本機を操作中に大きな魚が掛かるなどモーターへの負荷が大きい状態が発生した場合、ただちに運転を止めてください。高負荷運転は大きな電力を消費し発熱などから火傷や火災の原因となります。

各部の名称とはたらき



- ① **チャック** (穂先をくわえるための専用金具とビスです)
- ② **コンセント**(電源を供給するコードと本体を接続する部分です)
- ③ **投入スイッチ**(仕掛を湖底に落とす為のスイッチです)
- ④ **スプール** (ラインを巻き取る部分です)
- ⑤ **スイッチ** (仕掛を巻き取るためのスイッチです)
- ⑥ **フック** (棚を取るためにラインを固定するフックです)
- ⑦ **電池ケース**(単三アルカリ専用の電池ケースです)
- ⑧ **穂先** (高感度の本機専用穂先です)

操作方法とご使用のヒント

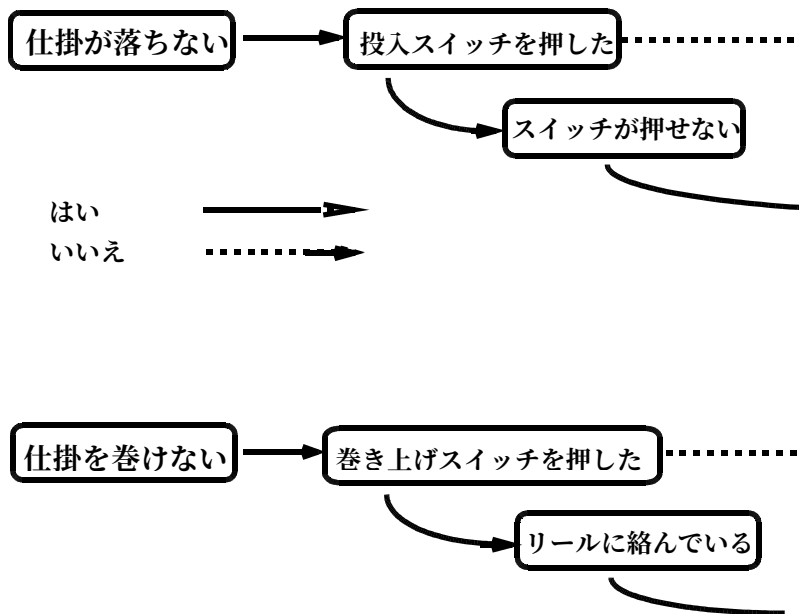
＊操作方法については付属の別紙操作方法をご参照下さい。

ヒント

- ① オモリは最大2号までです。ご自身の釣り方や状況によってオモリを1号～2号のあいだで調整してください。
- ② 軽いオモリは比較的感度が上り魚信が出やすくなりますが、針掛りしにくく、湖底までの到達時間が掛かります。今釣っているポイントが、魚信優先なのか魚の活性が高く手返しを優先するのか状況変化を速く読み取りオモリやエサ・仕掛けの調整を行なってみてください。
- ③ オモリが沈降している時に、竿の位置は一定に保ってください。オモリの沈降速度より速く、竿を振ったり竿の位置を変化させるとラインが弛みバックラッシュの原因となります。
- ④ 魚を誘う場合、③の事項に注意しながら誘って下さい。本機付属の穂先にオモリ重量を乗せるような感覚で、誘うことでバックラッシュ等が起きにくくなります。
- ⑤ 魚信にあわせを失敗した場合、すぐに仕掛けを投入してみてください。（誘う必要はありません）オモリが棚に到着後すぐに魚信があることがあります。数秒の内に魚信が無ければ通常通り誘って次の魚信を待ってください。
- ⑥ 本機標準搭載の穂先を、握った状態で完全に静止することが出来ると心臓の鼓動が穂先に現れます。この穂先にでる鼓動が止ったり鼓動の間隔が変化したときにも合わせてみて下さい。魚の魚信のこともあります。

- ⑦ 本機をお届けのさいには0.8号ナイロンライン約30mが標準で巻いてあります。赤城大沼や榛名湖ではラインは十分足りませんが、野反湖・丸沼・中禅寺湖など水深の大きな湖沼では、ラインが足らなくなる恐れがあります。その様な湖沼への釣行のさいには前もってラインの長さをご確認いただくか、0.6号など50mほど巻きなおしてお使い下さい。
- ⑧ 1号などの軽量なオモリをお使いになる場合、湖底までの到達時間が比較的長めに掛かります。軽量なオモリを使って到達時間を短縮するには穂先を水面と直角にすると、わずかですが沈降速度が上がります。また、多くの魚が掛かったときや、速く仕掛けを回収したいときは穂先を垂直にすることによってガイドとラインの抵抗が減ってわずかですが巻上速度が上がります。
- ⑨ ゴム管は消耗品です。目安として通常1シーズン1回の交換で十分ですが、多くの魚を釣ったりしてゴム管が磨耗した場合早めの交換をお願いします。ゴム管の素材は問いませんが自転車のバルブ等など低温下で硬くならず、ゴム管交換後のモーター軸直径が4mmを越え無いものを推奨致します。4mmを越える状態で使用した場合巻上の高速化・巻上トルクの減少・巻上が出来ないなどの症状が現れることがあります。十分にご注意して交換作業を行ってください。
- ⑩ 氷上でお使いの場合穂先ガイドが凍ることがあります。その際には運転を中止するか、凍らない環境下でお使い下さい。（テント内での火気の使用は大変危険ですのでおやめください）

故障かなと思ったら・・・



ご注意下さい！

これは簡易トラブルシューティングです。
保管状況や使用状況によってこれ以外のトラブルが発生した場合、速やかに運転をやめご購入された販売店にご相談下さい。

